



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう

記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年4月15日夕刊

## □を大事に譲り合う心で

約15平方メートルの小屋には子供服や玩具、食器がずらりと並ぶ。オープン初日、太田さんは有志5人で集めた品を長女の小学3年生茉耶(まや)さん(8)と確認。来場者には趣旨を説明した。

2018年まで約20年、ロンドンで大手航空会社の現地採用社員として過ごした。英国では不要になった物を融通し合う「チャリティショップ」が根付き、太田さんも親しんだ。高齢の親と過ごすために帰国すると、100円均一の店があふれる一方でチャリティ

### 浜松・浜北区の太田さん

物を大事に長く使う。持続可能な開発目標(SDGs)の一つで、古くて新しい価値観を地域で見つめ直してもらおうと英国帰りの女性が立ち上がった。浜松市浜北区沼の太田喜久子さん(58)が4月上旬、自宅敷地に「富用品市(ふようひんいち)ピタゴラス浜北」を開いた。住民が不要になった雑貨などを持ち寄り、別の住民が持ち帰る。同市中央区で運営される同様の「ピタゴラス富塚」に着想を得た。太田さんは「物の循環の場を浜北にも」と励む。

### 英国に倣い「富用品市」

「ショップのような場合は見当たらない。「安い物が多いのはいいけれど、いなくなったら捨てるのはどうなのか」。疑問が湧いた。

娘の友人の母からピタゴラス富塚の話聞いて約1年前に訪問。茉耶さんは「宝探しみたい」気に入った。不要の品を捨てない考え方はチャリティショップに通じた。

自動車で通ううち、太田さんは「環境にいいことなのに化石燃料を使っている意味がない」と考え、運営を決意。富塚を主宰する鈴木恵美子さんの52に教えを請い、鈴木さんの友人の島村友久さん(63)に運営協



雑貨などを確認する太田喜久子さん(中央)と茉耶さん(手前)。「SDGsにつながる草の根の活動だ」と意気込む＝4月上旬、浜松市浜北区

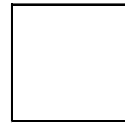
力を受けた。オープンに立ち会った島村さんは「多くの賛同を得るには困難もあるだろうが長く続けてほしい」と応援する。

太田さんは「SDGsにはつくる責任、つかう責任」という項目がある。草の根の活動につなげたい」と話す。

(浜北支局・松浦直希)

<メモ>ピタゴラス浜北は日曜と火曜の午前9時から正午まで開催。持ち込み、持ち帰りともに利用料100円から。運営協力のボランティアを募集している。問い合わせは太田さん<電話070(4166)4936>へ。

①見出し「□を大事に譲り合う心で」の□の中に、漢字一文字を入れましょう。



②古くて新しい価値観を地域で見つめ直してもらうために、太田さんが取り組んでいることは何ですか。



③SDGsの12番目の目標「つくる責任、つかう責任」に関係したことで、今問題になっていることを書きましょう。



作問者：NIEアドバイザー 中村都(静岡市立麻機小学校 教諭)

(小学校高学年～中学校／総合)

記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年4月15日夕刊

## 物を大事に譲り合う心で

約15平方メートルの小屋には子供服や玩具、食器がずらりと並ぶ。オープン初日、太田さんは有志5人で集めた品を長女の小学3年生茉耶(まや)さん(8)と確認。来場者には趣旨を説明した。

2018年まで約20年、ロンドンで大手航空会社の現地採用社員として過ごした。英国では不要になった物を融通し合う「チャリティーショップ」が根付き、太田さんも親しんだ。高齢の親と過ごすために帰国すると、100円均一の店があふれる一方でチャリティー

### 浜松・浜北区の太田さん

物を大事に長く使う。持続可能な開発目標(SDGs)の一つで、古くて新しい価値観を地域で見つめ直してもらおうと英国帰りの女性が立ち上がった。浜松市浜北区沼の太田喜久子さん(58)が4月上旬、自宅敷地に「富用品市(ふようひんいち)ピタゴラス浜北」を開いた。住民が不要になった雑貨などを持ち寄り、別の住民が持ち帰る。同市中央区で運営される同様の「ピタゴラス富塚」に着想を得た。太田さんは「物の循環の場を浜北にも」と励む。

### 英国に倣い「富用品市」

「ショップのような場合は見当たらない。「安い物が多いのはいいけれど、いなくなったり捨てるのはどうなのか」。疑問が湧いた。

娘の友人の母からピタゴラス富塚の話聞いて約1年前に訪問。茉耶さんは「宝探しみたい」気に入った。不要の品を捨てない考え方はチャリティーショップに通じた。

自動車を通ううち、太田さんは「環境にいいことなのに化石燃料を使っている意味がない」と考え、運営を決意。富塚を主宰する鈴木恵美子さんの52に教えを請い、鈴木さんの友人の島村友久さん(63)に運営協



雑貨などを確認する太田喜久子さん(中央)と茉耶さん(手前)。「SDGsにつながる草の根の活動だ」と意気込む＝4月上旬、浜松市浜北区

力を受けた。オープンに立ち会った島村さんは「多くの賛同を得るには困難もあるが長く続けてほしい」と応援する。

太田さんは「SDGsにはつくる責任、つかう責任」という項目がある。草の根の活動につなげたい」と話す。

(浜北支局・松浦直希)

<メモ>ピタゴラス浜北は日曜と火曜の午前9時から正午まで開催。持ち込み、持ち帰りともに利用料100円から。運営協力のボランティアを募集している。問い合わせは太田さん<電話070(4166)4936>へ。

①見出し「物を大事に譲り合う心で」の口の中に、漢字一文字を入れましょう。

物

②古くて新しい価値観を地域で見つめ直してもらうために、太田さんが取り組んでいることは何ですか。

- ・住人が不要になった雑貨などを持ち寄り、別の住人が持ち帰るというチャリティーショップ
- ・不要になった物を融通し合うシステム など

③SDGsの12番目の目標「つくる責任、つかう責任」に関係したことで、今問題になっていることを書きましょう。

### ▽食品ロス

- ・給食は残飯が多い。
- ・店で廃棄処分になるものが多い。

### ▽廃棄物

- ・プラスチックごみが海にいっぱい漂っている。ど